佐賀県白石町
令和６年８月５日発行

議会だより

■標題は北明小学校６年　川﨑瑠心（かわさきりゅうしん）さんの作品です

■Ｐ２～３　特集「STOP！寄附行為」
■Ｐ４　６月議会概要、賛否一覧
■Ｐ５～13　一般質問で町政を問う
■Ｐ14　常任委員会報告
■Ｐ15　全国町村議会議長・副議長研修会、視察来町、最近の議員活動
■Ｐ16　要望書、編集後記

令和６年 6 月議会
第77号

■表紙は白石小学校１年　原田華瑠（はらだはる）さんの作品です。テーマは「おうえんがっせん」

特集 白石町議会は

法令を守って活動に取り組みます！

贈らない
求めない
受け取らない

寄附とは

寄附とは、金銭、物品などの供与またはその約束です。党費や会費、町内会費など規約に定められたものや、物を買ったときの代金の支払いなどの債務の履行以外のものを言います。

政治家の寄附禁止とは

政治家（候補者、立候補予定者、現職の議員など）が、選挙期間中に限らず、選挙区内にある者に対して寄附をすることは、名義のいかんに関わらず、禁止されています。

※政党その他の政治団体や親族（６親等以内の血族及び3親等以内の姻族）に対するもの、政治教育集会に関する必要やむを得ない実費の補償（食事・食事料の提供を除く）は、禁止の対象から除かれます。

政治家が役職員または構成員となっている会社や団体が、選挙区内にある者に対して、政治家の氏名を表示したり、氏名が類推されるような形で寄附をすることも禁止されています。

政治家の後援会が、選挙区内にある者に対して行う寄附も、同様に禁止されています。

有権者が政治家に対し、寄附を求めることも禁止されています。

白石町議会では、議会や各議員の活動について、
法令に則った活動を行うようにしております。
町民の皆様のご理解をお願いいたします！

こんなことが寄附に当たるので注意しましょう!

冠婚葬祭

葬式への花輪や供花は
寄附に当たり禁止されています。

政治家から選挙区内にある者への祝儀や香典も寄附に当たりますが、政治家本人が披露宴・葬式に出席して渡す場合は、例外的に罰則の対象にはなりません。

秘書が代理で出席して渡す場合や、事前・事後に届けるものは
処罰の対象になる場合があります。

- 予め定められた披露宴の会費を支払うことはできますが、見込み額を支払うことは寄附に当たります。
- 祝電や弔電は寄附に当たりません。
- お布施について、読経など役務の対価と認められるものは寄附に当たりません。
- 香典返しについて、その地域で社会習慣として定着している場合、もらった額の半額程度であれば寄附に当たりません。

贈答品やお祝い、お見舞いなど

お歳暮やお中元、初盆の御仏前、
入学・卒業祝い、出産祝い、
新築祝い、開店祝いの花輪、
旅行への餞別、
バレンタインデー、ホワイトデー、
病気や怪我に対するお見舞い
など、慣習として行われているものも寄附に当たり禁止されています。

イベント関係

お祭りやスポーツ大会への
寄附や差し入れも
寄附に当たり禁止されています。

行く予定のないイベントのチケットを
購入することも寄附に当たり禁止されています。

忘年会や新年会などの会合に、予め決められた会費を支払うことは問題ありません。会費が設定されていない場合、実費を支払うことは可能ですが、見込み額を支払うのは寄附に当たり禁止されています。

その他

- 被災地支援であっても、政治家が自身の選挙区内の
  自治会等が行う募金に応じることは
  寄附に当たり禁止されています。

- 政治家が自身の選挙区内で行われる
  バザーに物品を提供することも
  寄附に当たり禁止されています。
- 政治家が自らの
  報酬やボーナスの一部を返納することも
  寄附に当たり禁止されています。
  ※減額には、報酬条例等の改正が必要になります。
- 政治家が自身の選挙区に対して
  「ふるさと納税」を行うことも
  寄附に当たり禁止されています。

6月定例議会概要

６月定例議会は、６月７日から１４日までの８日間で行いました。
町長から、補正予算など７件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て可決・承認されました。
一般質問は９人が行い、人口減少対策、ワクチン接種、農業振興、学校教育などについて執行部の考えを質しました。
また、議員発議により１件の意見書を可決し、国の関係機関に対し提出しました。

令和６年６月議会定例会には、16人の傍聴者にお越しいただきました。
皆さんの傍聴をお待ちしています！

賛否一覧

賛成 …… ○　反対 …… ●　欠席 …… 欠

	議案番号	議案	結果	吉岡正博	岸川信義	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫
6月定例会	30	専決処分の承認（税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	専決処分の承認（税の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	専決処分の承認（令和５年度一般会計補正予算（第11号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35	過疎地域持続的発展計画の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	36	令和６年度一般会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。

政治への信頼を取り戻すことを求める意見書

政治資金パーティーに関する収入の一部が政治資金収支報告書に記載されていなかったことや、議員側にキックバックし議員側も収支報告書に記載していないことが判明した。そのため、政治資金規正法違反として立件された事案や、いわゆる裏金疑惑が指摘されている事案が連日報道され、国民の間に政治に対する不信感が広がっている。

政治資金規正法は、政治活動の公明と公正を確保することにより民主政治の健全な発達に寄与することを目的としている。しかしながら、この法の趣旨から逸脱した政治資金の取扱いが指摘され、政治のあり方さえも問われている今回の事態は、地方議会としても看過できず、誠に遺憾と言わざるを得ない。

ついては、今国会において、政治資金規正法の改正が議論されているところであるが、改正法の実効性を早急に確保することと裏金問題の再発防止及び政治に対する国民の理解と信頼回復に向け真摯に取り組むよう強く求める。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和６年６月１４日
衆議院議長 額賀福志郎 様ほか関係大臣など

●提案者の吉岡英允議会運営委員長

草場（くさば）　祥則（よしのり）議員

問　高齢者のごみ出し支援は

答　社会福祉協議会の「かせすっけん事業」の支援を受けられる

議員　地域における家庭生活系ごみの出し方や分別の啓発と指導は。また、ごみケージの管理について地域からの要望は。

生活環境課長　ごみカレンダーと家庭ごみの出し方ポスターを全世帯に配布している。また、広報紙や行政放送、出前講座などにより周知に努めている。時折、氏名の記載がないマナー違反ごみに対して苦情があるが、地元役員の協力を得ながら解決を図っている。ごみケージの修理は町で対応している。

議員　高齢者が、ごみをステーションまで持っていけない世帯が増えているが、その対策は。

生活環境課長　全国的に問題化しており、都市部では登録制で戸別収集をされている所もある。町の社会福祉協議会において、ごみ出しや買い物など日常生活の困りごとの人的支援を受けられる「かせすっけん事業」を展開されている。

問　スーパーなどの商業施設の誘致を

答　事業者による市場調査や土地所有者との意向の合致により実現するものと考える

議員　身近にあった多くの商店が廃業されたダメージは大きい。スーパーなどの商業施設の誘致の考えは。

町長　有明海沿岸道路福富ICの西側には、ホームセンターが進出するなど商業施設の進出も期待される。スーパーは事業者による市場調査や土地所有者との意向の合致により実現するものと考える。

議員　県道武雄福富線沿線の開発を町が主体となり推進をするべきでは。

農業振興課長　町の振興には主要幹線道路沿線の開発は重要なテーマ。

　農地をしっかり確保しつつ、農業振興地域とのすみ分けは検討課題である。

●有明海沿岸道路福富ICから西側を望む

溝口（みぞぐち）　誠（まこと）　議員

問　白石地域新設小学校の通学路計画と対策はどの様になされるのか

答　信号機の設置や歩道の拡幅などの問題点は早い段階で協議を行う

議員　通学路の国道207号や444号を利用の安全性は。また、旧福富中、旧有明中の生徒で、統合により新たな自転車通学となった生徒についての安全対策は。

新しい学校づくり課長　国道207号廻里津商店街の所は、一部歩道が無い部分があり対策が必要と考える。先日実施した通学路点検でも重点的に確認を行った。現在、県へ路肩部のカラー舗装等の要望を行っている。福富、有明からの生徒の安全対策は、開校後は町、学校、PTA、交通指導員と連携し立哨を行っている。また、交通安全協会の安全講習や学校での指導を行っている。

建設課長　旧有明中の生徒は国道207号を通学路として利用。大井橋付近からは歩道が狭く、自転車での通行は大変危険なため、通学路として町道廿治大井線を通行、新たに歩道を設置する工事を延長680メートル区間にて整備中であり、来年度完成予定。旧福富中の生徒は国道444号を経由し町道太原本線を通学路としているが、終点部分460メートルが未整備のため、来年度から新たに歩道を設置する計画をしている。

議員　令和12年開校予定の白石地域新設小学校の通学路計画は、児童の半数は国道207号を横断しなければならない。その対策は。

新しい学校づくり課長　白石地域新設小学校の通学路について国道207号の横断対策は大きな課題である。通学路は新しい学校づくり準備委員会で協議、決定しているが、国道の整備には相当時間を要するため、準備委員会設置を待たずに、国道を渡る児童数や中学生の動線も考慮し早目に進めていかなければならない。

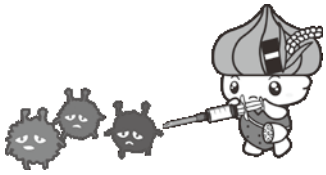
町長　信号機の設置や歩道の拡幅などハード面の整備は町単独では整備できないので、問題点など把握し早い段階から県・警察へ要望、協議を行わなければならない。

問　町として帯状疱疹ワクチン接種の助成は

答　本年9月から助成を開始する

議員　帯状疱疹ワクチン接種は有効と思われるが、接種料金が高額なため、接種を控えている。町としてワクチン接種の助成を考えていないのか。

保健福祉課長　令和6年9月からワクチン接種費用の一部助成ができるように、今期の補正予算に計上させていただいている。助成対象者は50歳以上、助成額は1回につき5千円の予定。不活化ワクチンは2回の接種が必要なため1人につき1万円を助成。生涯1回限りの助成としている。



友田（ともだ）　香将雄（かずお）　議員

問 **中小企業・小規模事業者振興条例の制定を**

答 **関係する商工会や金融機関の意見を聞きながら検討を重ねたい**

議員　本町の財政状況は厳しい。今後の具体的な取り組みは。

企画財政課長　合併特例債も今年度終了し厳しくなる。事務事業の見直しや優先順位の選択を行っていく。

議員　福富中学校跡地を分譲した場合の経費削減効果は。

企画財政課長　年間660万円（人件費除く）の削減効果と試算している。

議員　本町の公共施設総合管理計画では、削減を30％以上と計画されている。それに則った場合、今後廃校が予定されている7小学校はどのくらい残せるのか。また、すべて解体した場合の財政負担の軽減額は。

企画財政課長　計算上はすべて解体あるいは売却が必要になる。年間7120万円の負担軽減と試算している。

議員　財政健全化を進めるには歳入増加策も必要。中小企業・小規模事業者の振興に関する条例を制定する事で商工業者を支える仕組みが必要と考える。また、商工業は防災・復興面としても重要な役割も持つ事から、町としても地元業者を支援する仕組みをつくる必要があるのではないかと考える。以前商工会からも条例制定の要望が出ていたが、本町の考え方は。

商工観光課長　中小・小規模事業者は地域の雇用や経済はもとより、地域社会そのものを支える重要な役割を担っている。関係する商工会や金融機関の意見を聞きながら検討を重ねたい。

町長　建設業だけでなく他の業種も関係する問題である。条例の制定は内部や議会とも協議を重ねていきたい。

※そのほか、【副教材費の負担軽減策】【学童保育の時間延長】について質問を行った。

●令和８年に有明地域、令和12年に白石地域の小学校が統合再編されます。（写真は旧有明中学校）

井﨑（いさき）　好信（よしのぶ）議員

問　出生率の向上に出産祝い金の創設を

答　総合的に捉え考えていく

議員　白石町は２０５０年には消滅可能性自治体に見なされた。今以上の人口流出の歯止めの施策が必要では。

町長　今回の公表で地方の方々の自尊心を傷つけてしまう懸念がある。郷土に愛着を持っていただきたい。

総合戦略課長　最重要施策に移住定住を掲げ人口対策をやっている。

議員　若年女性の転入策転出抑制策を考えるべきでは。

総合戦略課長　人手不足の職種もあることから就業支援に検討の余地がある。

議員　介護士への支援の経緯があり、保育士への支援を考える時では。

保健福祉課長　県内でも支援されている自治体もあり内部で検討している。

議員　移住定住に結びつくような地域おこし協力隊の採用はどのように。

総合戦略課長　活用できる分野、有益な人材であると判断すれば採用に踏み切ることもある。

議員　婚活をサポートする婚活係の創設を。

副町長　婚活サポーターの皆様にお力添えをいただきながら、創生推進係で事業推進していく。

議員　出生率の向上には他町との差別化を図るべく出産祝い金の創設を。

保健福祉課長　財政負担を伴うことであり総合的に捉えて考えていく。

●菌体りん酸肥料工場

問　菌体りん酸肥料工場建設には優遇措置適用となるのか

答　製造業であれば雇用創出も考えられ合致する

議員　下水汚泥や野菜残渣の資源を活用した菌体りん酸肥料工場の建設が予定されているが、概要は。

生活環境課長　プラントの処理能力は日量１５０㌧程度で取得予定面積は試験田等と合わせ６ヘクタールほどの計画のようである。

議員　福富代行干拓に進出される予定という話も聞くが、企業誘致としての優遇措置の適用となるのか。

総合戦略課長　合致すると考えているが、現段階では土地協定も結んでいない。

議員　生産コスト削減や循環型農業を目指す中で大きく寄与すると思われる。農家への販売、周知はどのように考えているのか。

農業振興課長　経費の軽減に結びつくと思われるが、民間事業者が製造販売されるもので町からの周知、販売は考えていない。

中村（なかむら）　秀子（ひでこ）議員

問　観光資源としての神社仏閣、稲佐の馬かけ道の保全は

答　所有者にお願いしているが、馬かけ道の保全は関係機関と協議し取り組む

議員　コロナが５類に移行し再び人の移動が活発になってきている。本町でも道の駅に人が集まり、豊かな自然と農産物は大きな魅力であり観光資源である。そこで、観光の振興と歴史施設の保存保全について次の点について質問を行った。

①地域おこし協力隊の採用について②観光協会の役割③ガイドの必要性や魅力発信の施策④修学旅行の受け入れの概要⑤神社仏閣等の歴史施設の保全と観光施策⑥稲佐神社の馬かけ道の保全について

商工観光課長　①本町への観光客はこの５年間で倍以上となっている。採用してこなかった地域おこし協力隊も含め今後、本町の魅力発信や地域の活性化、観光振興に貢献してもらう人材を募集していきたい。

②観光協会は「しろいし観光協会」とし、観光地域づくり推進事業を行う。また、地域ガイド活動支援や、育成事業を行っていく。

③トップセールスで魅力発信するとともに、観光ガイドによって本町を知り興味を持ってもらう。

④令和７年５月に京都の中学生67名を受け入れる。今受け入れ家庭を募集している。家族の一員として迎え入れ、白石ならではの作業や体験をしてもらいたい。

⑤本町のパンフレットにも歴史とパワースポットコースを設定している。保全管理は所有者にお願いしている。ＳＮＳによる情報発信を検討したい。

建設課長　⑥稲佐神社の馬かけ道は里道であるが斜面が一部崩れている。この箇所の整備ということになれば、地域の人と協議し、県等と相談しながら取り組んでいくことになると考える。

問　いじめの現状は

答　相談件数は83件

議員　いじめは人権侵害であり犯罪であることは周知されている。しかし本町においてもなかなか少なくならない現状がある。いじめ防止に対する取り組みと対応策について質問を行った。

主任指導主事　いじめは毎年相談件数が報告され昨年は83件である。いじめの発見に対しては、小学校では月に一度の心のアンケート調査を行っている。中学校では今後は端末を利用したアンケートを実施し、心模様を掌握できるようにしたい。なお、教育相談期間を設いている。

発見後の対応は迅速に事実関係の確認を行い、関係修復へと指導を行う。また、今ネット上のいじめという新しい形のいじめ問題が出てきている。学校による把握は困難であることから、情報モラル教育とともに家庭と地域が一体となった取り組みが必要であり協力依頼を行っていきたい。

岸川　信義（きしかわ　のぶよし）議員

問　デジタル商品券について

答　18歳以下の子どもの保護者に2万円支給する

議員　デジタル商品券の目的、金額、期間等の内容について。

保健福祉課長　予算額は6960万円で、財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当する。

目的はエネルギーや食糧品価格の影響を受けている子育て世帯の負担軽減を図るためである。対象者は18歳以下の子どもの保護者で、2万円のデジタル商品券を給付し、使用期間は本年9月から来年1月までの5か月間を予定している。先進の他市町を参考にし、総合戦略課、商工観光課の協力を得て3課で進める。それにより地元商工業者の活性化・キャッシュレス対応の開拓・デジタル活用の住民サービスのノウハウを構築したい。

議員　デジタル商品券を取り扱う小売店の対応については。

保健福祉課長　デジタル商品券に不慣れな高齢者経営の店舗等についても、説明会を実施して取扱店の獲得を行う。

問　大雨の時どうする

答　大雨による被害を最小限食い止める

議員　事前排水等では、労力減・スピード・安全のために、ゲートの電動化設置を100%に行うことが必要だと思うが、町内ゲート数の電動化設置率は如何程か。

農村整備課長　ゲートの電動化については、操作員さんの高齢化対策として、操作の省力化・安全対策課題として取り組み、現在119カ所の電動化整備が行われている。

町内のゲート数は全部で889カ所あるため、約13%の設置率となる。

議員　多面的交付金（農地水）の達成率はどのくらいか。

農村整備課長　組織数は67組織あり、取り組み率は約92%。県内でも高い方である。

議員　只江川等の基幹水路を延長・拡張し、排水体系が満足できる計画図を作成してはどうか。

建設課長　大雨災害から、人命を守る・内水を貯める・内水を流すを目的とした、白石町流域治水対策メニュー及び計画図を令和4年に作成している。これを排水体系計画図と考えている。

議員　事前排水等をスムーズに行うため排水訓練を実施したらどうか。

建設課長　事前排水等をスムーズに行うため、毎年5月用排水調整会議を行っており今のところ訓練の計画はない。しかし、地域の実情に合わせた住民主導による訓練は問題ないと思う。

農村整備課長　用水確保の観点から、町が主体となっての訓練は考えていない。

副町長　大雨の時には、流域治水計画に基づき、関係機関と連携しながら推進していきたい。

西山（にしやま）　清則（きよのり）議員

問 経営継承や新規就農、人材育成確保は

答 新規就農者、親元就農者の確保は重要な施策

議員 人口減少下における生産水準の維持をどう考え、生産基盤の強化はどの様に考えているのか。併せて、輸出用米の生産等は。

農業振興課長 農業機械等の国や県の補助事業の推進を行い、担い手の確保と新規就農者に対する制度等を利用した移住・就農支援も継続して、少しでも生産水準を維持できるよう努力したい。また、地域計画を策定し、農地集約に関する将来的な設計図とする。玉ねぎの機械化体系の確立、労働力不足を補う雇用等の情報提供を行い、生産基盤強化に向けた取組を支援していきたい。輸出用米の生産は行われてはいないが、今後は国内の動向を見ながらＪＡとも情報を共有し参考としたい。

議員 生産者の減少と生産性向上への施策は。

農業振興課長 機械化体系に加え農作業全般に対して外国人の人材確保が可能となれば、生産能力の維持につながると考えている。

議員 経営継承や新規就農、人材育成確保のため、農業を支える人材育成の農業教育を。

農業振興課長 第三者への経営継承の相談もあり、状況に合わせた対応を行い、本町の農業を維持していくため、新規就農者、親元就農者の確保は重要な施策として取り組んでいく必要がある。

問 「九州三強の一人」龍造寺隆信の存在を

答 須古城周辺の整備が必要

議員 交流人口や観光客を増やすための手立ては。請願書も提出されているが。

商工観光課長 杵島山、須古城跡を始め、歴史的・文化的に価値のある神社・仏閣など観光名所を積極的に紹介し、町内を周遊してもらう観光施策に取り組んでいく。百済の阿佐太子が稲佐泰平寺に来られたことなど、関係者に話を聞きながら検討していきたい。

議員 肥前国の戦国大名「九州三強の一人」龍造寺隆信の存在をもっと世に知らせるべきでは。

生涯学習課長 龍造寺隆信、須古城の歴史を伝えるには、周辺の整備を行い、多くの方にお越しいただくことが必要である。

●龍造寺隆信の肖像
（佐賀県立図書館データベースより）

重富　邦夫（しげどみ　くにお）議員

問　白石町農業の将来像は
答　今後も産地としての責任を果たせるより一層取り組みたい

議員　食料・農業・農村基本法の改正がなされたが、その概要は。

農業振興課長　食料安全保障の確保、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興が新たな４本柱とされた。食料が不足する危機時に備えた対応を規定。

議員　改正法に新設された「多様な農業者」とは。

農業振興課長　詳細な内容は把握できていないが、今後は地域ぐるみで農地を保全し生産活動をおこなうため、兼業農家や企業等にも役割を担ってもらうことと考えている。

議員　農業者数の推移と担い手不足への取り組みは。

農業振興課長　各年代とも減少しており、農業生産をどのように維持していくか課題である。新規就農準備段階からの支援やいちごトレーニングファーム研修制度を利用した支援も継続している。

議員　農業者から町行政に期待されていることは。

農業振興課長　補助事業や経営所得安定対策事業、新規就農の相談が多く、そのような支援と情報提供が期待されていると感じている。

議員　改正法により町の農業振興の在り方への影響は。

町長　かねてから、農業と農村の振興なしでは農産物・食料の供給はできないと申し上げてきた。白石町農業が、今後とも産地としての責任を果たし、様々な農産物を安定的に供給できるように一層取り組んでいきたい。

議員　スマート農業の推進のためには、農地拡大や農道の拡幅などハード面の整備もすすめるべきではないのか。

農村整備課長　畦畔を取り除き区画を拡大された圃場の均平に係る経費を助成している。

　また、農業機械の大型化に伴い、機械を運搬する車両も大型化しているため、農道の離合も困難となってきているが、まずは、未舗装の農作業道の整備を進めていきたい。

●いちごトレーニングファーム

内野（うちの）　さよ子（こ）議員

問 「消滅可能性」新築住宅補助事業の効果は

答 30～70代では転入超過で121人 移住効果あり

議員　消滅可能性がある県内5市町である県西部・北部の減少率は高く、県東部・北部は緩やかな傾向である。このことをどのように受け止めているか。

町長　消滅可能性がある自治体としての公表はこれまで人口減少対策への取り組みに水を差すものだ。「10年後をふり返りウソだったね」と言えるように取り組みを進めていきたい。

総合戦略課長　国勢調査を基にした推計で、地域事情は考慮されていない。総務省のデータから要因として「良質な雇用機会の不足、社会インフラの不足、教育環境の不足（選択する大学）、娯楽施設の不足」など多くを県西部が該当。

議員　人口減少の危機感を叫ぶだけでなく将来に向けた取り組みが重要である。移住定住の住宅支援・結婚対策の状況は。

総合戦略課長　過去2年間で補助利用が29世帯あり、121人の移住定住があった。10～20代は就職・進学等の影響があり転出超過だが、30～70代は転入超過であり、効果の現れと認識している。

議員　「自然減・社会減対策」について今行っている政策はどのように考えるか。

総合戦略課長　住宅・結婚支援は20代から30代後半までの子育て世代を目的としており、若年層には機能しない。本町は18歳から30歳までの社会減が大きい特徴があり、ニーズが受容できていない。移住を推進できるまちづくり政策が必要。

議員　人口減少はなぜ起こるのか、つきつめて検討する必要がある。特に女性、例えば仕事の安定化、活躍の場の創出、女性の地位向上等まさに住みやすい、生きやすい、魅力ある地域かどうかについて20～30代女性にどのように写っているのか考えたことがあるか。

総合戦略課長　若い世代の女性にストレスの多い社会は、人口増に繋がらない。発言や行動の自由が阻害されることなくまちづくりを進めたい。審議会などの女性委員の比率の割合39・6％となり、県内市町でトップとなった。

議員　若者の総合計画アンケート結果に対する検証は。

企画財政課長　白石町での暮らしの満足度は全体10点中、平均6・3点。10～20代は6・2点である。このほか様々なデータを踏まえ対応策に取り組みたい。

問 馬田交差点の渋滞解消はいつになるのか

答 説明会を終え用地買収に着手している

議員　県道武雄・福富線は有明海沿岸道路・福富インターの基幹アクセス道路で重要な位置づけをされていると考える。右折帯がないため、朝夕の通勤時においては車が渋滞している。令和元年に質問しておりその後の進捗状況は。

建設課長　令和5年7月に地元説明会が開催され今年度からは用地買収に着手されている。交差点部は一体的な整備ができないとかえって危険を伴う可能性があり、慎重に整備していく必要がある。

総務常任委員会

令和6年度主要事業調査

5月10日、総務常任委員会所管の令和6年度主要事業調査を行った。

総務課、総合戦略課、企画財政課の担当者から各事業の概要の説明を受けた後、質疑応答を行った。

主には、総務課からは防災行政無線施設整備、総合戦略課からはJR長崎本線利便性向上促進や地域公共交通計画策定について、また、企画財政課からは合併20周年記念事業、公共施設予約システムの利用についてなどの説明を受けた。

さらには、ふるさと寄付金の運用方法や町の財政状況など、人口減少の中での財源確保に向けた政策を今後どのように考えているのか意見交換を行った。

●各担当者から説明を受ける

文教厚生常任委員会

白石中学校部活動・スクールバス運行等調査

5月30日、白石中学校を訪れ、部活動やスクールバスの運行に関する調査を行った。

学校概要の説明を受けた後、スクールバス発着所にてドライバーの方から直接話をお聞きし、安全第一に運行前の準備をなされていることが確認できた。運行状況についても引き続き注視していく必要性がある。

下校及び部活動の時間帯になると校舎から一斉にたくさんの生徒が外に出てくる様子を見て、大変活気があった。貞松校長が、応援してもらえる学校づくりをしていかなければならないと話されたが、将来の町を担う子どもたちのために、議会としても関心を持ち続け応援していかなければならないと改めて感じた。

●ボッチャを楽しむアダプテッドスポーツ部

産業建設常任委員会

有明海沿岸道路現地視察

5月17日、鹿島市議会、太良町議会と合同で有明海沿岸道路の視察を行った。有沿道路は、延長約55㎞の高規格道路であり、佐賀県域では、大野島ICから(仮称)佐賀ジャンクションまでの区間(延長約9・0㎞)は国において、佐賀唐津道路と有沿道路が接続する(仮称)佐賀ジャンクションから白石町福富までの区間(延長約10・5㎞)を佐賀福富道路として、また、白石町福富から白石町深浦までの区間(延長約10㎞)を福富鹿島道路として、県にて整備が行われている。

その後、大川佐賀道路(国事業)現場事務所にて担当者から説明後、橋長55ｍの橋が架けられているところを視察した。丁寧な説明があり、安全第一で施工がされていることが確認できた。利便性の向上や沿岸開発が加速していくこと、また、広域的な観光振興につながっていくことにも期待しながら、これからの状況にも注視していくことを確認した。

●佐賀県有明海沿岸道路整備事務所担当者から説明を受ける

全国町村議会議長・副議長研修会

5月21日、東京都内で開催された全国町村議会議長会主催の令和6年度町村議会議長・副議長研修会に、片渕栄二郎議長と内野さよ子副議長が参加した。

議会の一層の活性化に資することを目指し、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題について研修を受けた。

視察来町

●兵庫県議会 公明党議員団

●豊後大野市議会 産業建設常任委員会

5月21日、兵庫県議会から公明党議員団8名、7月12日、豊後大野市議会から産業建設常任委員会8名が訪問され、白石町の新規就農への取組（イチゴトレーニングファーム事業）などについて研修されました。

●兵庫県議へ農業振興課から説明を行った

最近の主な議会活動　4月～6月

	日	曜	行　事
4月	1	月	小中学校教職員異動に伴う辞令交付式
	4	木	SAGA2024 国スポ全障スポ白石町実行委員会
	7	日	白石町消防入退団式
	8	月	JVC ケンウッド寄付受納式・感謝状贈呈式
	9	火	白石中学校開校式
	10	水	議会運営委員会
			議員例会、議員説明会
	11	木	小学校入学式
	12	金	白石中学校入学式
	14	日	六角地区地域づくり協議会総会
	18	木	白石町婚活サポーター委嘱状交付式
			白石町商工会青年部第 19 回通常総会
			第 4 回有明地域づくり協議会設立準備委員会
	21	日	杵島郡身体障害者連合会代議員総会
	24	水	しろいし農業塾･いちごトレーニングファーム研修了式､入校式
	26	金	自衛隊家族会総会
			佐賀地区建設関係合同期成会総会
	30	火	白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会

	日	曜	行　事
5月	2	木	杵藤地区町村議会議長会定期総会
	10	金	議員例会､議員説明会
	11	土	ふくたこども園新園舎落成式
	12	日	第78回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ ソフトバレーボール
	16	木	県議長会行政視察(19日)
			婚活サポーター情報交換会
	17	金	白石町老人クラブ連合会定期総会
			産業建設常任委員会所管事務調査
			白石地区防犯協会総会
	19	日	有明西・六角・須古小学校運動会
	21	火	町村議会議長・副議長研修会
			兵庫県議会公明党議員団行政視察
	22	水	南部地区小児時間外診療事業運営委員会
			全国都道府県会長会

	日	曜	行　事
5月	23	木	白石町地域公共交通会議
			有明地域づくり協議会設立準備委員会
	24	金	筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会総会
			白石町文化振興財団評議員会
			白石町商工会通常総代会
	26	日	関西福富会
			白石中学校体育大会
	28	火	議会運営委員会
			佐賀県町村議会正・副会長会
	29	水	白石町民生委員推薦会
	30	木	文教厚生常任委員会所管事務調査

	日	曜	行　事
6月	1	土	須古地区地域づくり協議会総会
	2	日	白石・福富小学校運動会
	3	月	建設業組合要望書提出
			白石町社会福祉協議会理事会・評議員選任解任委員会
	5	水	白石町ボランティア連絡協議会総会
			有明地域づくり協議会設立準備委員会
	7	金	6月定例会開会、議案勉強会
	10	月	一般質問
	11	火	一般質問
	12	水	一般質問
	14	金	議案審議、閉会
	15	土	白石町青少年育成町民会議総会
	16	日	白石町手をつなぐ育成会定期総会
	17	月	白石町防災会議
	18	火	白石小学校学校訪問
	19	水	白石町社会福祉協議会評議員会
	20	木	有明地域づくり協議会設立準備委員会
	23	日	東京白石ふるさと会
	25	火	六角小学校学校訪問
			佐賀県市町村振興協会評議員会
			白石地域新設小学校基本構想・基本計画策定委員会

要望書を受け取りました

●町内建設業者の育成と建設労働者の雇用確保等についての要望

提出者　白石町建設業組合
　　会長　溝口　隆治

●議長に要望書を手渡す溝口隆治会長

編集後記

白石町議会の改選が約半年後となり、今委員会での議会だより発行も残り2回となりました。

小難しい議会の内容を少しでも分かりやすいものにしたい！との想いで、まさに委員会では毎回議論百出ではありましたが、少しづつ作り上げる事が出来たと思っています。

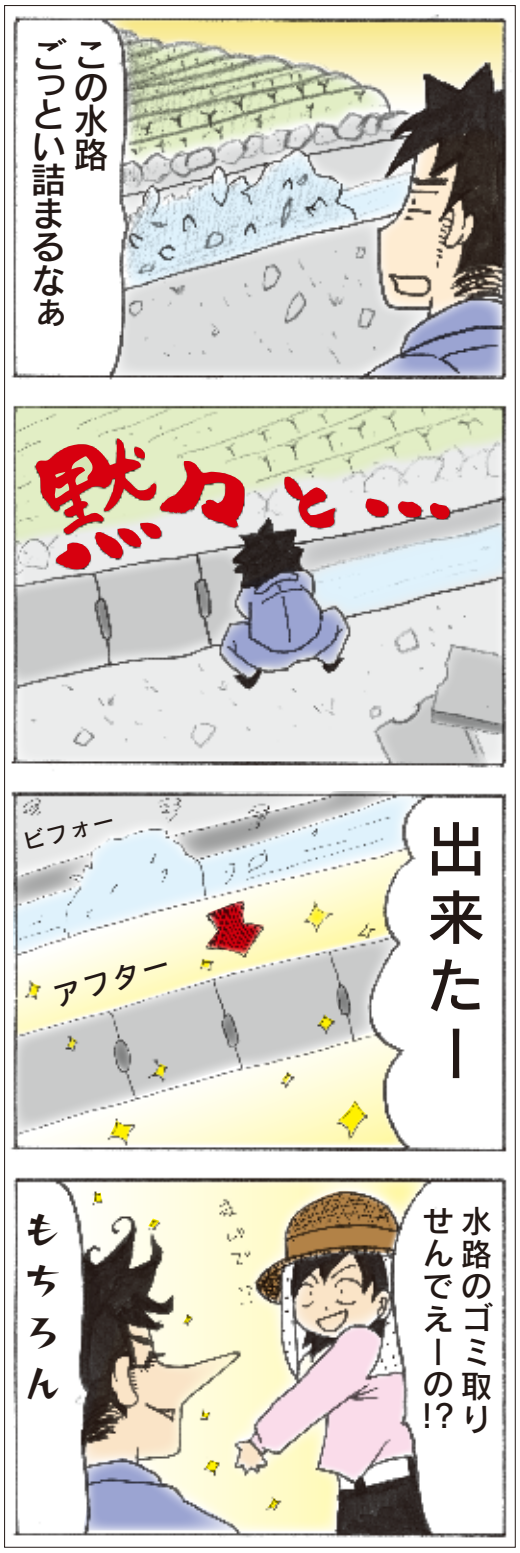
これからも「白石町議会だより」をよろしくお願いいたします。

（友田）

議会戦隊 炊飯ジャー

作：Sachiemon

第42話「暗渠（あんきょ）」



※暗渠とは、地下に埋設したり、ふたをした水路のこと。

白石町議会だより/第77号

発　行/白石町議会　佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126　FAX 0952-84-6611

編　集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長 片渕栄二郎

編集委員/委員長　定松 弘介
副委員長　友田 香将雄
委　員　中村 秀子
〃　重富 邦夫
〃　岸川 信義
〃　吉岡 正博